

別府大学・別府大学短期大学部 SDGs 基本方針

令和 6 年 10 月 1 日

別府大学・別府大学短期大学部

SDGs（持続可能な開発目標）は地球規模の問題である。しかし、地域に住むわれわれ 1 人 1 人が取り組まなければ解決できない問題でもある。このため別府大学・別府大学短期大学部は地域に根差した高等教育機関として SDGs 推進に率先して取り組む役割を担っている。地域貢献を通じて持続可能な社会づくりを進め、さらにはその担い手となる人材育成に積極的に関与することが重要である。それこそが国際社会が目指す SDGs の達成に大きく寄与するものである。

別府大学は建学の精神「真理はわれらを自由にする」に基づき、持続可能な社会の実現に向けた教育、研究、地域貢献活動を推進し、SDGs の目標達成に貢献する。

1. SDGs の達成に貢献する知見と行動力を持った人材を育成するための教育を推進する。

地球規模の問題を自らの問題として主体的に捉え、その解決に向け自分で考え、身近なところから行動に移す力、すなわち「think globally, act locally」が求められている。

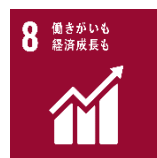


2. SDGs の達成に寄与するために分野横断的な研究を推進する。

SDGs が構成する 17 目標は相互に関連している。8 学科・2 研究科という幅広い研究分野を擁する別府大学は、それぞれの研究を横断的に発展させることが可能であり、それこそが総合的な SDGs 達成に寄与することになる。

3. 多様性のある社会の実現のため、人権教育・多文化理解教育を推進する。

SDGs は 17 の目標が掲げられており、多くが「人間の経済活動」に起因するものであることを受け止め、「誰ひとり取り残さない」という共通理念のもとでよりよい未来の構築を目指さなければならない。



4. 本学における SDGs 達成のための取り組みを広く発信する。

別府大学・別府大学短期大学部は SDGs 推進の勢いを閉ざさないよう努力する役割も担っている。2030 年以降の「次の SDGs」を見据えて国際社会、地域社会への貢献を展開させることが重要となる。